

家事消費・事業消費の計算表

氏名・農園名：_____ 年分：_____ 作成日：_____

月日（年末一括なら「一括」）	農産物	用途（家事消費／贈答／事業消費）	数量	単位	単価（円）	金額（円）	単価の決め方・同時に書く経費
		合計（収支内訳書・決算書の「家事消費・事業消費」へ）					

- 農産物を家で食べた・人に贈った・事業に使った（まかない、翌年の種もみ、家畜の餌など）ときは、収入金額に入れます。金額は原則その時の価額ですが、その年の収穫時の価額の平均や、出荷価額の平均で計算しても差し支えありません。
- その都度帳簿に書くのが原則ですが、年末に種類ごとの合計数量・合計金額を見積もって一括で書くこともできます。野菜・ぶどう・桃・梨などの生鮮な農産物は合計金額だけでも構いません。
- 事業消費した分は、同じ額を経費（種もみ→種苗費、餌→飼料費、まかない→雇人費の現物）にも入れるので、所得は増えません。
- 記入例の数量・単価は架空のものです。個別の判断は税務署や税理士に確かめてください。

家事消費・事業消費の単価の計算

氏名・農園名：_____ 年分：_____

農産物	計算のしかた	販売金額（円）	出荷経費（円）	出荷数量	単位	市場の平均単価など（円）	単価（円）	使った資料
例 米	①出荷あり	1,800,000	120,000	6,000	kg		280	JAの精算書（販売金額・手数料・運賃）
例 トマト	②出荷なし				kg	350	350	卸売市場の年間平均価格を参考

- ①農産物を出荷している場合は（販売金額-出荷経費）÷出荷数量、②出荷していない場合は市場の平均価額などを参考にした単価を使います。
- 出荷経費は、出荷のための包装費・運賃・市場やJAの手数料などです。①の単価は、収穫した時の生産者販売価額（庭先の手取りの価格）の目安になります。
- 米・麦などを年末に売らずに持っている分は、家事消費ではなく棚卸表の「農産物」に書きます。

家事消費・事業消費の用途ごとの扱い

用途	収入金額に入れるか	同時に経費に入れるか	消費税（課税事業者だけ）
家族で食べた（家事消費）	入れる（家事消費・事業消費）	入れない	課税売上げになる（みなし譲渡）
親せき・知人に贈った	入れる（家事消費・事業消費）	入れない	扱いは税務署に確認
手伝いの人のまかない・現物で渡した	入れる（家事消費・事業消費）	雇人費（現物）に同額	扱いは税務署に確認
翌年の種もみ・種いも・苗にした	入れる（家事消費・事業消費）	種苗費（自給分）に同額	課税売上げにも課税仕入れにもならない
自分の家畜の餌にした	入れる（家事消費・事業消費）	飼料費（自給分）に同額	課税売上げにも課税仕入れにもならない

• 国税庁「白色申告者の決算の手引き（農業所得用）」「収支内訳書（農業所得用）の書き方」「帳簿の記帳のしかた（農業所得者用）」をもとにまとめました。免税事業者は消費税の欄を気にしなくて構いません。

ミノリス（minorisu.com）の無料テンプレート